

課題整理総括表

利用者名 A様

作成日 / /

自立した日常生活の 阻害要因 (心身の状態、環境等)		① 歩行が不安定である	② 腰痛がある	③ 手の振戦がある
		④ 意欲の低下が見られる	⑤ 介護力が低い	⑥ 玄関アプローチが坂道である
状況の事実 ※1		現在 ※2	要因※3	改善/維持の可能性※4
移動	室内移動	自立 見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化
	屋外移動	自立 見守り 一部介助 全介助	①②⑥	改善 維持 悪化
食事	食事内容	支障なし 支障あり	②③④⑤	改善 維持 悪化
	食事摂取	自立 見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化
	調理	自立 見守り 一部介助 全介助	②③④	改善 維持 悪化
排泄	排尿・排便	支障なし 支障あり		改善 維持 悪化
	排泄動作	自立 見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化
口腔	口腔衛生	支障なし 支障あり		改善 維持 悪化
	口腔ケア	自立 見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化
服薬		自立 見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化
入浴		自立 見守り 一部介助 全介助	①②	改善 維持 悪化
更衣		自立 見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化
掃除		自立 見守り 一部介助 全介助	①②④	改善 維持 悪化
洗濯		自立 見守り 一部介助 全介助	①②	改善 維持 悪化
整理・物品の管理		自立 見守り 一部介助 全介助	①②③	改善 維持 悪化
金銭管理		自立 見守り 一部介助 全介助		改善 維持 悪化
買物		自立 見守り 一部介助 全介助	①②	改善 維持 悪化
コミュニケーション能力		支障なし 支障あり		改善 維持 悪化
認知		支障なし 支障あり		改善 維持 悪化
社会との関わり		支障なし 支障あり		改善 維持 悪化
褥瘡・皮膚の問題		支障なし 支障あり		改善 維持 悪化
行動・心理症状(BPSD)		支障なし 支障あり		改善 維持 悪化
介護力(家族関係含む)		支障なし 支障あり	⑤	改善 維持 悪化
居住環境		支障なし 支障あり	①⑥	改善 維持 悪化
				改善 維持 悪化

利用者及び家族の生活に対する意向
 本人・夫と協力しながら生活していきたい。もう少し家事や歩行ができるようになりたい
 夫・二人で協力しながら今の生活を続けていきたい。自分でできることはこれからも続けていく。

見通し ※5	生活全般の解決すべき課題 (ニーズ)【案】	※6
①適切な受診と服薬の継続、歩行訓練・筋力強化を行うことで、パーキンソン病の症状安定と歩行能力が向上できる。身体状況に適した補助具を使用する事で歩行動作が安定する。玄関アプローチの改修を行うことで安全に外出できるようになる。	パーキンソン病の症状コントロールが必要である。	1
②整形外科受診し腰痛の原因を確認し適切な治療により腰痛の緩和が見込まれる。身体に負担のない生活動作の指導を受ける事で身体の負担・腰痛が軽減できる	転倒の心配なく歩けるようになって、外出が楽しめるようになりたい。	3
③適切な受診と服薬による症状の安定と、生活動作の指導や訓練を受けることでAさんに適した家事動作が安全に行えるようになる	夫婦のみの生活なのでできない家事を手伝ってもらい、環境を整えながらお互いに無理なく生活していきたい。(できる家事を増やしてゆきたい。)	2
④夫や次女の協力を得て、外出の機会を作る、歩く距離を少しずつ延長し自信を持つ。パーキンソン病の症状コントロールを行うことで生活動作の支障が軽減し、意欲の向上が期待できる	玄関前が坂道のため、外出を困難にしている。安全に外出できるように環境を整える必要がある。	4
⑤今後も夫の協力を得て助け合うことを継続しつつ、次女も含めて、どのような介護や支援が必要かを相談し、家族の役割分担を明確にする。また、掃除などできない部分の家事を援助することで、生活への不安や負担を軽減することができる		
⑥玄関前の坂道を身体状況に合わせた安全な環境に整えることで、安全に玄関アプローチを移動することができる。		

※1 本書式は総括表でありアセスメントツールではないため、必ず別に詳細な情報収集・分析を行うこと。なお「状況の事実」の各項目は課題分析標準項目に準拠しているが、必要に応じて追加して差し支えない。
 ※2 介護支援専門員が収集した客観的事実を記載する。選択肢に○印を記入。
 ※3 現在の状況が「自立」あるいは「支障なし」以外である場合に、そのような状況をもたらしている要因を、様式上部の「要因」欄から選択し、該当する番号(丸数字)を記入する(複数の番号を記入可)。
 ※4 今回の認定有効期間における状況の改善/維持/悪化の可能性について、介護支援専門員の判断として選択肢に○印を記入する。

※5 「要因」および「改善/維持の可能性」を踏まえ、要因を解決するための援助内容と、それが提供されることによって見込まれる事後の状況(目標)を記載する。
 ※6 本計画期間における優先順位を数字で記入。ただし、解決が必要だが本計画期間に取り上げることが困難な課題には「-」印を記入。